

令和6年度

元気いっぱい 花いっぱい
笑顔あふれる みんなの宮前小学校

所沢市立宮前小学校



けやき

自立する子

《学校教育目標》

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく

第10号 令和7年2月3日

学ぶことの大切さ！！

校長 五十嵐 和彦

2025年がスタートして1ヶ月がたちました。子供たちは、お正月気分もぬけ、勉強に運動にエンジン全開で毎日を過ごしています。

2月は「にげる(逃げる)」と言われるように、あっという間に過ぎてしまいます。一日一日を大切にしてお過ごしくことが大切です。

さて、今月は「学ぶ」ということについて考えてみます。「学ぶ」とは、国語辞典によりますと、①教えを受けて知識や技芸を身に付ける、②勉強をする、学問をする、③経験を通して知識や知恵を得る、わかる、④まねる、とあります。世の中ではとかく①や②が重視されがちですが、③④についても「生きてはたらく知恵」を身に付ける上で、とても大切だと思います。

先日1年生が生活の学習で地域の長生会のお年寄りから「昔遊び」を教えていただきました。はじめのうちは四苦八苦していましたが優しく教えていただき、できるようになってくると目を輝かせて、夢中で取り組んでいました。苦労して達成して初めて知恵や技が身に付くのだと思います。これからも宮前小学校では体験的な活動を取り入れ、子供たちの知的好奇心を揺さぶり、生きた知恵を身に付けさせたいと考えております。今後ともご支援ご協力をお願いいたします。



「才能」は、自分や世の中の人々を助けるためのもの

「宇宙まで 夢を届けた 若田光一」と彩の国21世紀郷土カルタにも詠まれているのは埼玉県出身の宇宙飛行士 若田 光一さんです。若田さんの素晴らしい活躍の裏には若田さん自身の能力に加え、地道な努力の積み重ねがあったことと思います。

空前の大ヒットとなったアニメ映画「鬼滅の刃」の中で、煉獄杏寿郎の母は剣の才能に秀でた我が子に「その才能を弱い人を助けるために使いなさい」と諭す場面がありました。誰にでもそれぞれ「才能」や「能力」が備わっています。しかし、それを努力で磨くことで初めて自分や世の中の人々のために使えるのだと思います。自分で決めたことを最後までやり抜くこと、コツコツと努力を積み重ねる

ことは立派な才能と言えます。今勉強していることは、きっと将来、自分や世の中の人々のために役立てられると思います。自分を信じて目標に向かってトライ＆チャレンジで進んでいけるといいですね。



< 2月の生活目標 > 寒さに負けない体をつくろう

1月の活動から



1/8 3学期始業式



1/9 書初め競書会



1/15 体育朝会



1/20 食育出前授業(6年)



1/28 授業研究会



お知らせ

1月21日付のテトルでもお知らせしましたとおり、令和7年4月よりこれまで給食時に配膳当番の児童が使用していた給食着の使用が次のように変更されます。

○1・2年生：これまでどおり、学校から貸与する給食着を使用します。

○3～6年生：配膳当番の児童は、各家庭で用意したエプロン等を使用します。

詳しくは、保健給食課から配信された文書をご参照ください。

